

平成25年度第3回岐阜県事業評価監視委員会

議事要旨

1. 日時：平成25年7月31日（水）9：30～11：00

2. 場所：岐阜県庁 6階 6南2会議室

3. 出席委員：岐阜大学 理事兼副学長 杉戸 真太
岐阜工業高等専門学校環境都市工学科 教授 岩瀬 裕之
岐阜大学総合情報メディアセンター 教授 篠田 成郎
岐阜大学地域科学部 准教授 三井 栄
岐阜市柳津町商工会女性部 部長 奥村 茂子
岐阜県弁護士会 弁護士 小森 正悟
美濃商工会議所 会頭 高井 孝市朗
岐阜県農業協同組合中央会 専務理事 守屋 啓司
恵南森林組合 代表理事組合長 山内 章裕
岐阜県間税会連合会 事務局長 山下 泰
農業、岐阜県コミュニティ診断士 服部 昭彦

4. 議事

議事1 議事要旨署名委員の指名について

議事2 再評価実施箇所の説明及び審議について

- ① 農業農村整備事業：県営広域農道整備事業【西南濃地区】県事業
- ② 農業農村整備事業：県営基幹農道整備事業【山口地区】県事業
- ③ 林道事業：公共林道事業【加茂東線】県事業
- ④ 林道事業：公共林道事業【恵北東線】県事業
- ⑤ 林道事業：公共林道事業【三森山線】県事業
- ⑥ 林道事業：公共林道事業【下呂～萩原線】県事業
- ⑦ 林道事業：公共林道事業【森安～万波線】飛騨市事業

5. 議事要旨

○議事要旨署名委員の指名について

委員長から署名委員として三井委員、山内委員、山下委員を指名。

○再評価実施箇所の説明及び審議について

①農業農村整備事業 [事業主体：岐阜県]

・審議事業：県営広域農道整備事業【西南濃地区】

・説明者：農地整備課 加藤課長

【審議】

杉戸委員長

費用対効果分析のB/Cの表現ですが、Bが「妥当投資額」となっております。

他の事業では「総便益／総費用」ですが、「妥当投資額」としている理由はなんですか。

説明者（加藤課長）

近年行われている費用対効果は、総費用総便益方式で算出しておりますが、従前は妥当投資額方式で算出しておりました。国からの通達では、計画変更で費用対効果を算出するときに、総費用総便益方式に切り替えることになっておりますが、西南濃地区については、費用対効果の算出方法が変更されてから計画変更を行っておりませんので、妥当投資額方法で算出しております。ただし、妥当投資額や総事業費については、時点修正を行っております。

杉戸委員長

総費用総便益方式と妥当投資額方式では、算出基準はどのように違うのですか。

説明者（加藤課長）

例えば、効果を算出する期間について、妥当投資額方式では、平均耐用年数で算出していますが、総費用総便益方式では、40年＋工事期間で算出しています。

守屋委員

事業を巡る社会情勢の変化で、麦・大豆の生産量が急激に増加していることは、グラフでわかりますが、逆に米の生産量は減っていると思いますが、そのようなことについても表示をするべきではないかと思います。

説明者（加藤課長）

麦・大豆については、事業採択時点では、ほとんど取り組まれていませんでしたが、農道や大型ほ場などを整備したことにより、顕著な取り組みがあったということで、ここに表示させていただきました。米の生産量の減少については、この地区に限らず、他の地区でもみられることであることから、ここでは取り上げておりません。

【審議結果】

- ・ 農業効果はもとより、生活環境向上効果も見込まれ、災害時の迂回路等としての役割も高いこと。また、地元から強い要望もあることから、**事業主体の対応方針（案）「継続」を了承する。**

②農業農村整備事業〔事業主体：岐阜県〕

・ 審議事業：県営基幹農道整備事業【山口地区】

・ 説明者：農地整備課 加藤課長

【審議】

高井委員

筋工として間伐材を利用しておりますが、間伐材はどのくらいもちますか。

説明者（加藤課長）

防腐処理をしていますので、10年程度はもつと考えています。その間に草が生えてくるなど、斜面がある程度安定することが期待できます。

高井委員

将来的には、そのままでもつわけですか。

説明者（加藤課長）

筋工は、草が生えるまでもてばいいと考えております。

小森委員

採択年度から20年が経過していますが、距離が約3kmと距離の割に事業期間が長い気がします。何か要因はあるのでしょうか。

説明者（加藤課長）

予算との兼ね合いもあります。農業農村整備事業は、今年度は予算が多くつきましたが、これまでは年々予算が減少してきました。岐阜県の農道事業は先程説明した西南濃地区の他にも数本ありますが、橋梁や高速道路交差部のような工事があると多くの費用を要しますので、工期が長くなります。

杉戸委員

先程の西南濃地区の工期は37年間でしたが、採択当時から37年間の計画だったのでしょうか。

説明者（加藤課長）

事業期間は途中で延長していますが、工区を区切り、出来たところから供用を開始しています。

【審議結果】

- ・ 農業輸送の効率化が図られるなど投資効果が見込まれ、災害時の迂回路としての役割もあること。また、地元から強い要望があり、後1年で事業も完成することから、**事業主体の対応方針（案）「継続」を了承する。**

③林道事業〔事業主体：岐阜県〕

- ・ 審議事業：公共林道事業【加茂東線】
- ・ 説明者：森林整備課 長沼課長

【審議】

篠田委員

費用対効果分析のところで、木材生産便益が効果全体の20%で、森林整備経費縮減等便益が78%と森林整備経費縮減等便益のほうがかなり多くなっていますが、理由は为什么呢。

説明者（長沼課長）

森林整備経費縮減等便益の中で、林道を開設したことによって整備される森林の公益的機能の算出が大きな部分を占めており、水源かん養や土砂流出防止といった公益的機能の効果が大きいからです。

篠田委員

その算出の方法は、林野庁のマニュアルですか。

説明者（長沼課長）

林野庁のマニュアルです。

杉戸委員

そういうことであれば、木材生産便益が効果全体の20%でも妥当な数字だということですか。

説明者（長沼課長）

全国、この林野庁が示した方式で算出しており、森林の公益的機能も評価に入れるということで、林道が開設されることによって整備される森林のいろんな機能が森林整備経費縮減等便益の中に入っておりますので、この比率が大きくなります。

守屋委員

次に説明される恵北東線と比較してお聞きしますが、同じ事業期間で事業の進捗率が加茂東線は69%、恵北東線は95%と違いがあるのは、どのような原因があるのですか。

説明者（長沼課長）

予算の配分やいろいろな要素が絡んできます。同じ県内でも事務所ごとにある程度の配分率があり、路線数も違うため、進捗率が違ってきます。途中で線形を協議して変更することで時間がかかる場合もあります。また、地形などの現場条件により、1m当たりにかかる経費が違いますので、同じ金額を投入しても進捗率が違ってくこともあり、必ずしも同じ時期に開始した事業の進捗率が同じになるとは限りません。

守屋委員

もう一点お聞きします。コスト縮減の取り組みで幅員を5mから4mに見直したということですが、幅員を5mから4mにすれば、コストを下げることは簡単なことではないかと思えます。他の路線でも幅員を見直せばコストを下げられるのではないかと思えますが、幅員4mでも林道として問題はないのですか。

説明者（長沼課長）

幅員4mでも10tトラックであれば問題ありません。もう少し大型のトレーラーの場合は幅員5mになります。林道の幅員は、基本は5mで実施しておりますが、急峻なところに5mの道を今までどおりつけていって伐開幅や工事費を大きくするのではなく、その区間については4mにして10tトラックで搬出するようにするというので、急峻なところについて幅員を見直しました。

山内委員

県下でも有数な木材の出るところなので、1日でも早く完成させてもらいたいと思います。

杉戸委員

先程、10tトラックであれば幅員4mで問題がないと言われましたが、4mですれ違えることができますか。

説明者（長沼課長）

すれ違いは難しいため、待避所を所々に設けております。

【審議結果】

- ・利用区域内の間伐等森林整備を推進するとともに、間伐材等の搬出利用を推進する必要があり、地元から強い要望もあることから、事業主体の対応方針（案）「継続」を了承する。

④林道事業〔事業主体：岐阜県〕

- ・審議事業：公共林道事業【恵北東線】
- ・説明者：森林整備課 長沼課長

【審議】

- ・意見等なし。

【審議結果】

- ・間伐をはじめとした地域の森林整備を進める必要があり、地元から強い要望もあることから、事業主体の対応方針（案）「継続」を了承する。

⑤林道事業〔事業主体：岐阜県〕

- ・審議事業：公共林道事業【三森山線】
- ・説明者：森林整備課 長沼課長

【審議】

山下委員

コスト縮減の取り組みで、L型擁壁の活用がありますが、L型擁壁はいつ頃から活用されるようになったのですか。

説明者（長沼課長）

10年程前からです。

山下委員

計画された時には、まだ、このような物はなかったということですか。

説明者（長沼課長）

最初の計画の頃は、ほとんどが重力式擁壁でした。

篠田委員

費用対効果の分析方法はマニュアルで決まっているものなので変えようがないと思いますが、この場所は阿木川ダムの上流にあたります。以前に流木が非常に問題になったことがあると思いますが、その流木は切り捨てた間伐材や倒木などが流出してきたものだと聞いております。そのような物を減らす効果も非常に大きいはずなので、便益に入っていない効果もある場所ではないかと思えます。

説明者（長沼課長）

森林整備経費縮減等便益の中に公益的機能の評価がありますので、流木災害防止を便益として入れることは可能であるとは思いますが、どのように効果額を算出するかなど、独自に入れるには難しいところがあります。

【審議結果】

- ・間伐をはじめとした地域の森林整備を進める必要があり、地元から強い要望もあることから、事業主体の対応方針（案）「継続」を了承する。

⑥林道事業〔事業主体：岐阜県〕

- ・審議事業：公共林道事業【下呂～萩原線】
- ・説明者：森林整備課 長沼課長

【審議】

山内委員

残計画があと1kmですが、まだ5年かかりそうですか。

説明者（長沼課長）

残っている所には大きなガラガラの石があり、法を切ろうとすると上から落ちてきてしまうため、それを防ぐ必要があります。一番厳しい所が残っておりますので、まだ5年はかかると思います。

杉戸委員

先程、説明の中で事業期間を5年間延長したとありましたが、そのために延長したのですか。

説明者（長沼課長）

そこの工事に時間を要することと、それによって同じ費用を投入してもなかなか工事が進捗しなかったために延長しました。

杉戸委員

予定の事業期間がぎりぎりになってから延長したということですか。

説明者（長沼課長）

予定の事業期間で完了させるつもりで努力してきましたが、直前で無理だと判断し延長しました。

服部委員

このような場所は、コストが高くなるのではないですか。

説明者（長沼課長）

コストが高くなったため、先程説明した費用対効果が前回評価時より下がっています。

【審議結果】

- ・森林整備促進の必要があり、林業振興のための重要な路線であること。また、地元から強い要望があることから、**事業主体の対応方針（案）「継続」を了承する。**

⑦林道事業〔事業主体：飛騨市〕

- ・審議事業：公共林道事業【森安～万波線】
- ・説明者：飛騨市 建設課 青木課長

【審議】

山内委員

冬は雪の影響があると思いますが、工期はどのくらいですか。

説明者（青木課長）

早くて5月下旬から6月上旬頃に入りまして、11月下旬から良くて12月上旬くらいまでになります。

杉戸委員

コスト縮減に努力されていると説明がありましたが、一方で費用対効果分析の投資的効果率が前回評価時より下がっており、その理由を事業費が増加したためと説明されましたが、その辺の関係はどうなっているのでしょうか。

説明者（青木課長）

土質の非常に悪い山腹斜面があり、そこにそのまま道をつけると法面工に非常にお金がかかり事業費が増加するというので、安定した土質のほうへ線形を見直すことでコスト縮減を図っておりますが、現在施工している場所も非常に土質が悪い場所で、法面工等に非常にお金がかかってしまうということが要因の一つです。

杉戸委員

コスト縮減を図っても、更にそれを上回る事業費が必要だったということですか。

説明者（青木課長）

はい。

【審議結果】

- ・間伐をはじめとした地域の森林整備を進める必要があり、地元から強い要望もあることから、**事業主体の対応方針（案）「継続」を了承する。**

○再評価実施箇所の審議結果について

【農業農村整備事業】

県営広域農道整備事業【西南濃地区】

県営基幹農道整備事業【山口地区】

継 続

継 続

【林道事業】

公共林道事業【加茂東線】

公共林道事業【恵北東線】

公共林道事業【三森山線】

公共林道事業【下呂～萩原線】

公共林道事業【森安～万波線】

継 続

継 続

継 続

継 続

継 続